

港北区社会福祉協議会

ふくしのまど

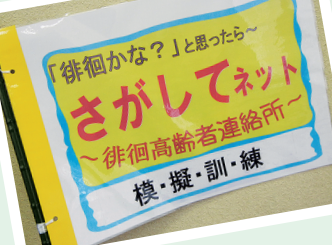
【第88号】
共同募金
配分事業

冬号

港北区ボランティアセンター通信

あすなろ賛助 会員募集中

新吉田あすなろ地区社協は、3大イベントとして「春の地域総合防災訓練」「夏の納涼福祉盆おどり大会」「秋のふれあい運動会」を行っています。障害があっても、また子どもからお年寄りまで誰もが参加しやすく、交流ができるよう工夫した取り組みを行っています。

ボランティア情報

メルマガ配信中

登録はコチラから



アドレス登録用
空メールアドレス

情報配信サービスに登録すると、
毎月の港北ボラセン情報がメールで届きます！
(サービスは無料、通信費はご本人負担です)

① yokohamashakyo-address@info-service.jp に空メールまたは、左のコードを読み取って下さい
② 仮登録メールが届くので、メールに記載のURLに接続し、登録をお願いします。

募集中

図書ボランティア

病院で保管している図書を患者さんへ貸出し・整理をするボランティアです。

曜日：毎週火曜日
時間：11:45～15:00
場所：横浜労災病院(小机町3211)
交通費支給

カフェでウェ이터・キッチン手伝いなど

障害者の方と一緒に野菜を切ったり洗ったりするお手伝いです。

曜日：毎週木曜日
時間：10:00～16:00または15:00
場所：リンデン・カフェ社(日吉本町2-47-10)
交通費実費、謝礼1時間につき200円

給食づくり

給食の調理・盛り付けのお手伝いです。

曜日：火・金曜日いずれかまたは両方
時間：9:30～14:00
場所：障害者地域活動ホームしもだ(港北区下田町6-31-8)
※綱島駅からバス。車通勤は応相談。
謝礼1日1500円、昼食あり(利用者と同じもの)

あんしんセンター

ご自身で金銭や大切な書類を管理することに不安のある高齢の方・障がいのある方の財産や権利を守り、あんしんして日常生活が送れるよう支援する事業です。

自分が亡くなった後、障がいのある子どもの将来が不安だ

成年後見制度の内容や手続き方法について知りたい

親が不必要だと思われる商品を次々と購入しているの心配

高齢や障がいにより、公共料金などや家賃の支払い、年金の確認など日常的な金銭の管理に不安がある。

まずはお電話にてお問い合わせください ☎045(533)2600

ふれあい動物園がやってくる

3月24日(土) 10:00～14:30

主催：新吉田地区社会福祉協議会 後援：新吉田連合町内会

場所 新田公園(新吉田町3099-1)

どうぶつのえさ 1カップ50円
ポニー乗馬 1回100円

★スタンプラリーやぬりえ、ヨーヨーつりもあります！

※駐車場がないため、お車でのご来場はご遠慮ください。 ※荒天時は25日(日)に延期

お問い合わせ：やすらぎの家 ☎045(591)6480

入場無料！

赤い羽根募金

赤い羽根募金運動にご協力いただき、本当にありがとうございました。29年12月末で港北区では19,679,618円の募金をいただきました。皆様のあたたかいお気持ちは、港北の福祉・まちづくりのために使われます。

みんなの居場所づくり支援します

みんなの居場所始めませんか？

現在、区内では3カ所の居場所が運営されています。住民同士の交流や活動が深まり、地域が活性化し、子どもからお年寄りまで誰もが気軽に立ち寄って参加・相談できる場となってきています。しかし「居住地から歩いて行ける範囲にある」ことが望まれているため、さらに増やしていく必要があると考えています。

港北区のみんなの居場所(平成29年度)

ふらっと高田

「子どもから高齢者までふらっと寄っておしゃべりできる場所」。絵手紙、ペン習字、囲碁・将棋など、曜日ごとにイベントを行っている。高齢者を中心に高田近辺の住民が集う。10年前、地区社協を中心に立ち上げ、ボランティアスタッフは知り合いをたどって集めた。地域イベントや広報紙を通じて周知。今では月200人ほどが利用している。

【概要】住：高田東4-12-27 / 主催：地区社協 / 財源：利用料150円 / 半日、バザー、地区社協、みんなの助成金

大倉山 みんなの居場所

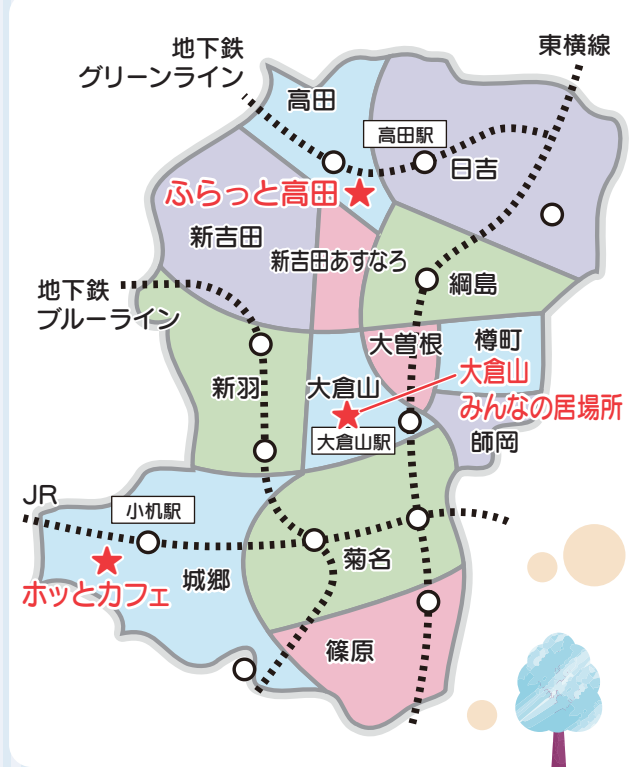
放課後の児童や地域の高齢者、諸地域団体が集う。講習会、イベントなども開催。犯罪が多発していたことを懸念し、平成18年の防犯拠点センターを皮切りに防犯力の向上と情報発信の場として創設された。地域住民や地区社協、青少年指導員がスタッフとして常駐している。

【概要】住：大倉山4-5-4太尾防犯拠点センター内 / 主催：地区社協 / 財源：地区社協・連合町内会、みんなの助成金

ホッとカフェ

カフェとして食事の提供をはじめ、ハンドメイド品などを販売する棚ショップ、貸しスペースを行っている。高齢者や障がい者への働く場の提供を目的として楠の木学園OB・OGが立ち上げたのがはじまり。ひきこもりがちの人、精神障害を持つ人などをボランティアとして受け入れる。回覧板や新聞掲載などを通して広報。「その場所では何が必要か考えることが大事」と野澤代表。

【概要】住：小机町2468 / 主催：地区社協、楠の木学園家族会 / 財源：喫茶：(200円～)、棚ショップ、貸しスペース、みんなの助成金



居場所づくり推進体制

場所の確保 居場所に適した拠点探し

資金面の支援 開設・運営資金を支援

人材の育成 運営する地域人材の発掘と育成

連携・ノウハウ

資金援助

ネットワークを通して支援します

運営継続の支援 居場所を継続するための情報提供や広報

実施条件

- 高齢者・障がい児者・子育て中の親・子どもなど、地域の誰もが参加・利用できる場所
- 原則、週3～4日開設し、1日につき午前・午後を通じて5時間以上開設する
- 地域住民からの相談に対し、情報提供などができるスタッフの配置(1名以上)
- 自主財源の確保(総事業費の20%以上)に努めること(2年目以降は必須)
- 合議制のとれる体制を整え、必要に応じ役職を置くこと など

期待される居場所の役割・取り組み

- 高齢者サロン
- 介護予防
- 仲間・グループづくり
- 子どもの居場所
- 身近なところで集える・相談できる場
- 空き店舗・空き家の活用
- 子育て中の親子の交流
- 人材育成
- 障がい児者の居場所
- 防犯・防災対策

問合せ 社会福祉協議会 横浜市港北区社会福祉協議会 / 港北区ボランティアセンター

申込み先 法人

〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町13-1 吉田ビル206

☎045(547)2324 FAX045(531)9561 月曜から土曜 午前8時45分～午後5時15分

info@kouhoku-shakyo.jp http://www.kouhoku-shakyo.jp/

情報毎月更新 ボランティア